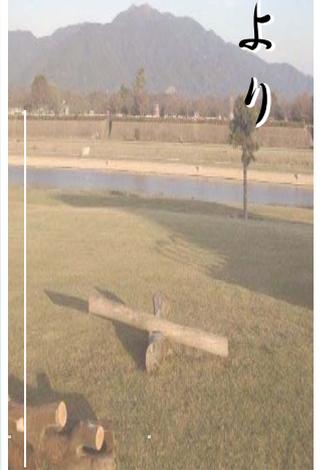


遠賀川流域活動報告

遠賀川流域だより



第32号
平成25年10月

”遠賀川流域住民の会”が「日本水大賞」 (国土交通大臣賞)を受賞



受賞式での記念撮影
右より、窪山理事長、太田国土交通大臣、
松岡事務局長

日本水大賞とは、(社)日本河川協会が平成10年から河川環境の保護、水資源の保全、河川の防災、水の文化の活動を通じて功績のある活動を表彰する制度です。

詳しくは、「<http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>」
第16回の応募締め切り：平成25年11月30日(当日消印有効)

NPO法人遠賀川流域住民の会が、第15回日本水大賞の国土交通大臣賞を受賞しました。平成25年7月2日(火)に東京都江東区日本科学未来館ホールにて行われた受賞式で、太田国土交通大臣より窪山理事長に表彰状が手渡されました。



遠賀川流域住民の会は、遠賀川流域で河川環境改善や文化・歴史保全活動に取り組んでいる約80の団体と連携するだけでなく、行政や企業とも連携して多彩な川づくり・まちづくりを展開されています。

主な活動に、総勢約2万人が参加する遠賀川一斉清掃、団体間の活動や体験の交流会、海岸クリーンキャンペーン、源流の森再生のための竹林間伐と竹炭による水質浄化、カヌー駅伝大会、情報誌の発行などがあります。

■おくやみー遠賀川流域住民の会の窪山理事長は、平成25年10月1日にご逝去されました。ご冥福をお祈りします。

”遠賀川水辺館”が来館者30万人達成



直方市の遠賀川と彦山川の合流部にある遠賀川水辺館は、平成16年10月に開館してから約9年目となる平成25年9月12日(木)に、来館者30万人を達成しました。

当日は、直方市長や遠賀川水辺館と遠賀川河川事務所の多くのスタッフが、30万人目の来館者を出迎えました。

30万人目となったのは、水生生物観察の校外学習で来館された福智町立市場小学校の2年生63人で、引き続き来館された小竹町立小竹西小学校の2年生10人が30万1人目となりました。

小学生にはサプライズとなった30万人達成式典で、2校の代表にくす玉を割っていただきました。式典の様子は翌日の朝刊(3社)に掲載されました。



遠賀川水辺館のスタッフの皆さん



小竹町立小竹西小学校2年生、福智町立市場小学校2年生と記念撮影。

宮若市の子ども達が弥ヶ谷川の水質を調査

宮若市小原地区は、「農地・水・環境保全会議」による農村環境保全活動の一環として、花の植栽や地区内を流れる川の水質調査などに取り組んでおられます。

平成25年8月18日(日)、宮若市小原自治区の子ども会の皆さんと地元の犬鳴川支流弥ヶ谷川(やがたにがわ)の水質を調査しました。まず、川の水を採取し、透視度計やCOD(簡易パケット)を使って臭いや色を確認しました。水の色はきれいで、臭いもありませんでした。次に、川の中に入って水生生物を採取し、どの水質に棲む生物かを指標と照合しました。子ども達は、川に入る前から「カニがいる!!カニがいる!!」と大喜び。水の中ではもっとおおはしゃぎ!!子ども達の歓声が響き渡りました。

今回の調査では、きれいな水に棲むサワガニやトビゲラ類が多く見つかりました。魚ではドンコやカワムツがいました。また、ややきれいな水に棲むカワニナも多くみられ、この川ではホタルもたくさんいるということでした。「日頃、川を見るのがなかった。この川にこんなに魚がいるなんてビックリしました。」と参加されたお父さん。

子ども達は、採った生物に興味津々で、遠賀川河川事務所のスタッフにたくさんの質問しました。

今回の体験で、子ども達は身近な川の現状を知り、あらためてきれいな川を守るための意識が高まった様子でした。



透視度計や簡易パケットを使っての調査状況



採取した水生生物



水生生物の採取開始。

小竹町の遠賀川河川敷でひがん花の植栽～ひがん花まつり

平成25年8月3日(土)、小竹町役場前の遠賀川河川敷で、4700球のひがん花の球根の植栽が行われました。

ひがん花の植栽は、遠賀川流域花のみちプロジェクトの一環として行われているものであり、直方・鞍手地域の2市2町(直方市、宮若市、小竹町、鞍手町)と福岡県が、NPO法人「小竹に住みたい」まちづくりの会やボランティア団体と協働して河川敷などに花を植栽している事業で、今年で3回目になります。

当日は、炎天下のもと、松尾小竹町長をはじめ、地域住民の皆さんや遠賀川河川事務所のスタッフなど総勢65人が大粒の汗を流しながら1球ずつ丁寧に球根を植えていきました。

ひがん花が咲きはじめた頃の平成25年9月21日(土)、「ひがん花まつり 2013」が開催されました。

河川敷に集まった100人程の参加者は、ライトアップされた赤や黄、白のひがん花、青木宣人さんによる環境のお話(体験談やサケの放流の話)やコンサート、抽選会を楽しみました。

植えられた球根の中には、ピンクやオレンジ色の花を咲かせるものもあるようで、今後の咲き誇りに期待しています。



◎今年も彼岸花を植えました

秋には遠賀川を彼岸花で彩ろうと、8月3日、夜場前河川敷で町民・町職員約65人が参加し、彼岸花の球根を植栽しました。
この活動は、NPO法人「小竹に住みたい」まちづくりの会が中心となって行われています。彼岸花の開花時期には、鮮やかな赤色が遠賀川河川敷を彩り、皆さんの目に留まると思いますので、足を運んでみてください。

小竹町の四反田川を竹炭で浄化

平成25年8月10日(土)、小竹町内を流れる四反田川(したんだがわ)で、第3回となる「竹炭による河川浄化作戦」が実施されました。

生活排水の流れ込みによる水質低下などは、私たちの身近な川でも見かけることがあります。

「竹炭による河川浄化作戦」は、小竹町の特産である竹を炭にした「竹炭」を河川内に設置し、少しでもきれいな水が遠賀川に注ぐように取り組まれています。

広報こたけ
「ひまわりだより」
9月号の記事

◎竹炭による河川の浄化作戦

8月10日、NPO法人「小竹に住みたい」まちづくりの会は、国土交通省九州地方整備局遠賀川河川事務所 宮崎調査課長、津原専門調査員と一緒に、会員の皆さんが採集し炭窯で作った竹炭を、四反田川に流す作業を行いました。
なお、この作業は北九州市平成25年度遠賀川環境保全活動団体支援助成事業助成金を活用して実施しました。



河床に打ち込んだ鉄筋に、ネットに入れた竹炭を括りつけて設置

今年度より「ゴミ収集施設(網場(あば))」の運用を開始

毎年、出水期に遠賀川が増水すると、大量のゴミ(浮遊物)が上流から遠賀川河口堰に流れてきます。大量のゴミは、河口堰のゲートを傷めるだけでなく、河口周辺の漁業や観光にも悪影響を与えるため、その対策に苦慮しています。

その対策の一つとして、遠賀川河口堰の上流約250メートルの地点に延長203メートルのゴミ収集施設を設置し、今年度の出水期から運用しています。9月3日までに河口堰周辺で約2,300m³(25mプール1杯分)のゴミを収集し、そしてそのうち約6割をゴミ収集施設で収集することができました。



ゴミ収集施設でゴミを捕捉。

H25年度 ゴミ回収量	9/3降雨まで	
	網場部	堰ゲート部
ゴミ回収量	1,385 m ³	931 m ³
割合	60%	40%
合計	2,316 m ³	



① 列をなして押し寄せてくるゴミ



② ゴミ回収状況



③ ゴミの状況(近景)



④ 重機でゴミを回収



⑤ 陸揚げしたゴミの山



⑥ 人力での分別作業

ちなみに・・・

今年の夏もたくさん雨が降りました。激しい雨が降ると、川の水位がどんどん上昇し、河川敷が見えなくなってしまうほどに。下の写真は今年8月30日(金)の遠賀川河川事務所前の様子です。水がひいた後の河川敷にはたくさんのゴミが残りました。



第12回 芦屋・若松海岸クリーンキャンペーン



平成25年9月15日(日)、芦屋・若松海岸で、「第12回 芦屋・若松海岸クリーンキャンペーン」が開催され、参加しました。(主催: NPO法人 遠賀川流域住民の会 共催: 芦屋の自然を守る会、洞山保存会) 何気なく捨てられたゴミは、上流から下流へと川を流れ、河口へと流れていきます。海に出たゴミは、漁船のスクリューに絡んだり、海岸の景観を損なうなど、地元住民の皆さんに大変な迷惑をかけてしまいます。

ゴミのないきれいな芦屋・若松海岸を取り戻すため、河口から遙か上流の嘉飯地区、田川地区、直方地区、北九州地区、中間地区、そして地元芦屋町から、朝早くから約400人もの方々が参加しました。

この日は台風の影響で風が強かったですが、みんなで袋がいっぱいになるまでペットボトル、空きカン、発泡スチロール等のゴミを拾いました。参加していただいたみなさん、ありがとうございました。



『遠賀川魚道公園』が2013 グッドデザイン賞を受賞

平成20年からはじまった遠賀川河口堰魚道改良事業により、遠賀川河口堰の左岸に多自然魚道が完成し、『遠賀川魚道公園』として平成25年6月に完成しました。

計画から完成までの間に、学識者、河川の活動団体、地元代表等と5回の懇談会、8回のワークショップやイベント等を行ってきました。

今回、5年間にわたって計画・設計に取り組んできた遠賀川河口堰魚道改良事業について、2013グッドデザイン賞(※1)を受賞しました。

審査委員からは、「魚や生き物が遊上できる仕組みだけではなく、河川敷に緩やかな曲線や緑地を多く取り入れ、自然再生を目指す環境整備とランドスケープデザインを同時に行っている。また利用者が気持ちよく散歩できる歩道整備も行い、治水、利水、かつ憩いある魅力的な空間づくりに成功している。」との評価をいただきました。



河口堰魚道を考え、望ましい遠賀川を次世代へ繋ぐ懇談会



遠賀川河口堰魚道改良ワークショップ



総合学習：多自然魚道石ならべ



完成後の利用状況



※1 グッドデザイン賞とは…

「グッドデザイン賞」は、昭和32年に旧通商産業省によって設立された「グッドデザイン商品選定制度」(通称 Gマーク制度)を継承する、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。

すがすがしい秋です 河川敷にお出かけしませんか

夏の暑さも去り、外出しやすい季節になりました。遠賀川流域の河川敷でも、様々なイベントが予定されています。

開催日時	名称	開催場所	問い合わせ先
平成25年10月20日(日)	第7回遠賀川わくわく夢フェスタ	遠賀川水辺館前河川敷広場	遠賀川で遊ぼう会 TEL:0949-26-1987
平成25年10月20日(日)	第27回しじみ祭り	大任町大本松 彦山川水辺広場	大任町商工会 TEL:0947-63-2241
平成25年11月3日(日)	GOTTON JAM 2013「カンテラリバー」	イヅカコスモスモモン前河川敷駐車場	GOTTON JAM 2013事務局 TEL:0948-26-4777
平成25年11月3日(日)	のおがた産業まつり2013	直方リバーサイドパーク	のおがた産業まつり実行委員会 TEL:0949-25-2160
平成25年11月24日(日)	第17回 I LOVE 遠賀川流域住民交流会 & 広域連携フォーラム in 水巻	水巻中央公民館	NPO遠賀川流域住民の会 TEL:0948-22-3535
平成26年1月12日(日)	第37回新春マラソン	遠賀川水辺館前河川敷広場(スタート)	北九州ランニングセンター事務局 TEL:093-662-9278



遠賀川水辺館前の河川敷広場ではたくさんのヤギ達が河川敷広場の除草作業をしています。ヤギのお父さんに連れられて、毎日(水辺館の休館日と悪天候日を除く)10:00~17:00に河川敷広場の草を食べてくれています。今、3頭の子ヤギがいますよ。

一度、河川敷広場にお出かけしませんか!

頭を撫でてもらえると嬉しいな☆



すごいでしょ!!



石壁も登れるよ。

よいしょと。



おとつと!



遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所
住所 直方市溝堀1丁目1-1
電話 (0949) 22-1830
FAX (0949) 22-2859
HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会
電話 0948-22-3535
<http://www.ongagawa.jp/>